

論文の出題分野（最近2か年）

日 程	2024年度入試	2023年度入試
A日程 (8月)	『リスクを考える —「専門家まかせ」からの脱却』 ①要約 ②あなたの見解	『人の心に働きかける経済政策』 ①要約 ②具体例(あなたの見解)
B日程 (9月)	『思考停止社会 —「遵守」に蝕まれる日本』 ①論旨説明 ②あなたの見解	『科学的とはどういう意味か』 ①論旨説明 ②あなたの見解
C日程 (2月)	未公開(許諾申請中)	『家父長制と資本制』 ①論旨説明 ②あなたの見解

傾向と対策

A) 傾向

- 文章の要約が中心。ポイントが指示される場合もある。
- 自己の見解を問う場合も、著者の見解の正確な理解が前提。
- 法律知識は問わないが、法曹志望者に考えてもらいたいテーマが選ばれている。

B) 対策

- 自由作文ではないので、見解の独自性を競う必要はない。
- 社会問題に関心を持ち、専門以外にも視野を広げよう！
(ニュース、新書等)
- 設問に出題者が解答してほしいことが示されているので、
設問をよく読み、問われていることすべてに答えよう！

憲法の出題分野（最近2か年）

日 程	2024年度入試	2023年度入試
A日程 (8月)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 宗教団体に対する解散命令と 信者の信教の自由 (オウム真理教解散命令事件)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 地鎮祭への公金支出と 政教分離原則 (津地鎮祭事件)
B日程 (9月)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 風俗案内所の営業禁止区域の設定と 営業の自由 (京都府風俗案内所条例事件)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 ビラ配布目的での集合ポストへの無断立入りと 表現の自由 (防衛庁立川宿舎ビラ投函事件)
C日程 (2月)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 風俗を害すべき書籍・図画の一律輸入規制(税関検査)と 検閲・知る自由 (札幌税関検査事件)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 嫡出性を要求する国籍取得要件と 法の下での平等 (国籍法事件)

傾向と対策

A) 傾向

- 人権分野からの出題がほとんど。
- 事例問題がメインだが、2022年度入試から語句説明問題も出題。語句説明問題は統治分野からの出題が中心。
- 事例問題では、基本的な論点（いわゆるAランク論点）について理解を問うものが多い。主要判例の知識があれば解答は可能。

B) 対策

- 基本的知識（概念・定義など）を正確に理解すること。
⇒ 教科書1冊を丁寧に読んでおこう！
- 事例の事実関係から論点を発見できること。
⇒ 主要な判例と学説を知っておこう！
- 基本的知識を用いて、事例の分析ができること。
⇒ 演習書を使って実際に事例問題の練習をしよう！
* 穴戸常寿ほか編『憲法演習サブノート210問』がおすすめ。

民法の出題分野（最近2か年）

日 程	2024年度入試	2023年度入試
A日程 (8月)	〔設問1〕 動産物権変動と即時取得 〔設問2〕 贈与契約の解除と解除の意思表示と強迫	〔設問1〕 賃貸人の地位の移転・賃貸借契約の解除 〔設問2〕 受領遅滞と損害賠償請求・契約の解除
B日程 (9月)	〔設問1〕 無権代理 〔設問2〕 無権代理と相続 〔設問3〕 危険負担および解除	〔設問1〕 種類物と危険負担 〔設問2〕 法定相続人と相続分
C日程 (2月)	〔設問1〕 債務不履行責任に基づく損害賠償請求 〔設問2〕 共有物分割請求	〔設問1〕 盗品に対する物権的返還請求権 〔設問2〕 受領権者としての外観を有する者に対する弁済

傾向と対策

A) 傾向

- **基本的な論点および民法の原則**についての理解を問うものが多い。**民法の諸原則および主要判例**の知識があれば解答は可能。
- **改正民法**からの出題が多くみられる。
- **家族法**からの出題も見られる。

B) 対策

- 基本的知識(概念・定義など)を正確に理解していること。
⇒1冊で民法全体(家族法含む)をカバーしている本などで基礎を学習、
例えば**潮見佳男『民法(全)第3版』(有斐閣)**など。
- 主要な判例を知っておくこと！
⇒**『判例百選Ⅰ～Ⅲ 第9版』(有斐閣)**あるいは
『判例30!』(有斐閣) × ①～⑤くらいには目を通しておく(いずれも家族法含む)。
- 基本的知識を用いて、事例の分析ができること。
⇒演習書を使って実際に事例問題の練習をしよう！
『民法演習サブノート210問 第2版』(弘文堂)(家族法含む)などがお勧め。

刑法の出題分野（最近2か年）

日 程	2024年度入試	2023年度入試
A日程 (8月)	〔設問1〕 論述問題(横領の意義と不法領得の意思) 〔設問2〕 事例問題(遅すぎた構成要件実現、共犯)	〔設問1〕 用語説明(注意義務、財物) 〔設問2〕 事例問題(2項強盗、財産上の利益)
B日程 (9月)	事例問題(窃盗罪、事後強盗罪、共犯)	事例問題(盗品等関与罪、共犯)
C日程 (2月)	事例問題(背任罪と共犯)	事例問題(詐欺罪、共犯)

傾向と対策

A) 傾向

- 事例問題では、罪責を問うものが出題されている。
- **A日程**では、加えて短めの論述問題が出題されている。
- 事例問題は、裁判例の事実関係をもとに作成されているものが多く、**基本的な論点**についての理解を問うものである。

B) 対策

- **基本的知識**と「**判例**」の正確な理解は必須である。
⇒ 教科書1冊通読 + 判例の重要な事実をおさえること。
- 事例の事実関係から**論点**を発見する力を身につける。
⇒ 学説が条文や「判例」との関係で何故その点を議論しているのかをおさえること。
- **事例の分析**ができる力を身につける。
⇒ 演習書を使って実際に事例問題を解く。
* 学部の授業で使用した教材や市販の教材 (Law Practice 刑法など)。

商法の出題分野（過去2年分）

日 程	2024年度入試	2023年度入試
A日程 (8月)	- 取締役の利益相反取引の手續(会社356条1項2号、365条1項) - 利益相反取引に関与した取締役の会社に対する責任(会社423条)	取締役会決議を要する重要な財産の処分(会社362条4項1号)
B日程 (9月)	- 株主提案権(議案提案権、会社304条)の手續及び行使要件 - 株主提案権が無視された場合の株主総会決議の効力	- 株主総会の招集手續上の瑕疵と決議取消の訴え(会社831条) - 全員出席総会の効力
C日程 (1月)	- 株主の権利行使に関する利益供与(会社120条1項)と株主総会決議の効力 - 違法な利益供与と取締役の会社に対する責任	取締役会の承認を欠く譲渡制限株式譲渡の効力と会社が譲渡人を株主として取り扱うことの可否

傾向と対策

A) 傾向

- 出題範囲(法令)は会社法(会社法施行規則)のみ。
- 会社法における1つないし2つの典型論点が出題される傾向が強い。
- 当該論点につき、必ずしも、最高裁判例が存在するわけではないが、最高裁判例のある論点が出題される可能性が高い。
- 設問は常に2つ。〔設問1〕では、**制度趣旨**や**要件・手続**等が問われることが多く、〔設問2〕では、事例問題における当てはめが出題される。

B) 対策

- 薄くても構わないので、**基本書を1冊**しっかりと精読することが必要(司法試験受験者に定番の基本書、学部で使った基本書等、なんでも構わないが、最新のものが望ましい)。
- 基本書を読む中で、必要に応じて**判例百選**で重要判例をチェックする。
- 市販の問題集(Law Practice 商法など)で、起案の練習をする。
→ 必須ではないが、やっておくとLS入学後に楽になる？